

平成28年度 小学6年 「全国学力・学習状況調査」結果

小学6年生	国語	A 基本的内容	②全国標準を「やや上回っている」
		B 応用・発展的な内容	②全国標準を「やや上回っている」
	算数	A 基本的内容	①全国標準を「上回っている」
		B 応用・発展的な内容	②全国標準を「やや上回っている」

結果のコメント ①上回っている ②やや上回っている ③同程度である ④努力を要する

<調査結果と分析>

- 国語Aでは、漢字の読み、書き等、言語についての知識・理解について正答率が高い。また、目的や意図に応じて図や表と関連づけたり、書く事柄を整理したりすることも良くできている。しかし、ローマ字を理解については、全国平均を下回っており、課題がある。
- 国語Bでは、すべての分野で全国平均を上回っている。話し手の意図を正しく捉えたり、話の展開に沿って質問をしたりする筋道を立てた考え方ができる。また、自分の考えを的確に書く力も高い。
- 算数Aでは、四則計算における基礎的な問題は、正答率が高い。また、図形や立体の構成や位置関係などの理解も良くできている。
- 算数Bでは、ほとんどの分野で全国平均を上回っている。算数の基本的な考えを応用して考える問題に正答率が高い。また、問題の事象と根拠となる事柄を関連づけて説明する力も高い。しかし、必要な情報を収集し、グラフや表などを用いて表す問題に課題が見られる。

<本校の特徴と改善の取組>

国語と算数ともに、ほとんどの領域において全国平均正答率より高い結果がでており、日常の学習の成果が、十分に発揮されている結果と考えられます。

各学級では、学習規律の定着はもちろん、学習内容の確実な理解に力を入れています。特に、算数と漢字の学習については、中学校に合わせて、期末テストを行うなど、積み残しのない指導を目指して取り組んでいるところです。また、保護者の皆様のご理解とご協力のもと、「共育ノート」を通して、日々の音読、自学等の家庭学習にも力を入れています。

このほか、夏休みのサマースクールや下校時間の弾力化など、学力の定着にむけた取組も、子ども達の学力向上に効果を発揮していると考えています。

また、同時に行われた生活習慣調査の結果から、自分の考えを書いたり話したりすることに意欲的であるといった結果も表れています。

これらのことから、今後も、子ども達の学力向上に向け、学力定着を重視した授業の取組を行うとともに、自分の考えを筋道立てて文章にまとめたり積極的に発表したりする、分かる楽しい授業づくりを進めてまいります。